

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 10-108719

(43)Date of publication of application : 28.04.1998

(51)Int.Cl.

A45D 4/14

A45D 7/06

(21)Application number : 08-283027

(71)Applicant : SASAKI MIKIO

(22)Date of filing : 04.10.1996

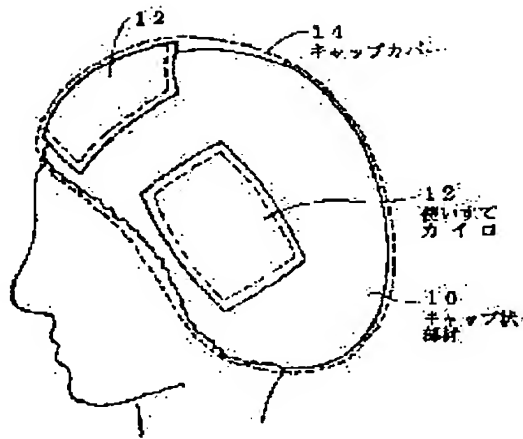
(72)Inventor : SASAKI MIKIO

(54) HAIR HEATER AND HAIR HEATING METHOD

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To easily and partially perm, treat and color the hair by heating only a part of the hair by a heating means such as a disposable body warmer or the like disposed facing a part of the hair to a cap-like member for covering the hair.

SOLUTION: This hair heater is constituted by sticking the disposable body warmers 12 to the appropriate positions of the cap-like member 10 for covering the entire hair by being put on the head. Also, a cap cover 14 provided with a waterproof property and a heat insulation property is put on the cap-like member 10 so as to prevent the useless heat radiation of the generated heat of the disposable body warmers 12. At the time of use, after applying or moistening a permanent agent or a treatment agent, etc., to a hair part, by sticking the disposable body warmers 12 to the cap-like member 10 in a heat generating state and putting it on, the hair is heated by the generated heat and far infrared rays of the disposable body warmers 12, the infiltration to the hair of the permanent agent or the like is accelerated and a high permanent or treatment effect is obtained.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平10-108719

(43) 公開日 平成10年(1998) 4月28日

(51) IntCl⁴

A 4 5 D 4/14
7/06

識別記号

F I

A 4 5 D 4/14
7/06

審査請求 未請求 請求項の数 8 F D (全 7 頁)

(21) 出願番号 特願平8-283027

(22) 出願日 平成8年(1996)10月4日

(71) 出願人 596154295

佐々木 幹雄

東京都世田谷区千歳台 1-12-13 ディア
ハイツ千歳台304号

(72) 発明者 佐々木 幹雄

東京都世田谷区千歳台 1-12-13 ディア
ハイツ千歳台304号

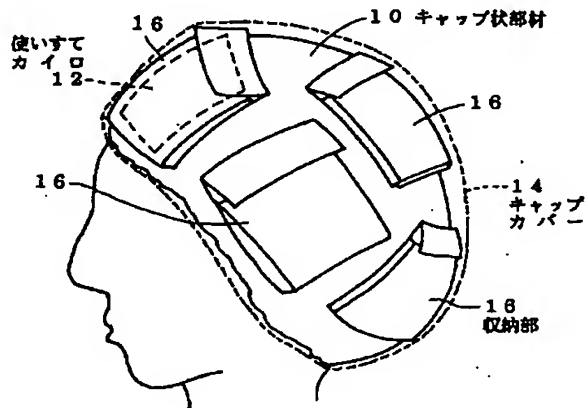
(74) 代理人 弁理士 森山 哲夫

(54) 【発明の名称】 頭髮加熱器および頭髮加熱方法

(57) 【要約】

【課題】 使いすてカイロ 12, 12... を加熱手段として用いて、家庭内で手軽に頭髮を加熱することのできる頭髮加熱器を提供する。

【解決手段】 頭に被って頭髮全体を覆うキャップ状部材 10 に、複数の区画を設け、これらの区画にポケット状の収納部 16, 16... をそれぞれ設ける。頭髮の加熱が必要とされる部分に対向する収納部 16, 16... に、使いすてカイロ 12, 12... を収納し、この使いすてカイロ 12, 12... の発熱によって頭髮を加熱する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 頭髪を覆うキャップ状部材に、頭髪の一部分に対向させて加熱手段を配設し、この加熱手段により頭髪の一部分のみを加熱するように構成したことを特徴とする頭髪加熱器。

【請求項2】 頭髪を覆うキャップ状部材に、複数の区画を設けてこれらの区画に加熱手段をそれぞれまたは選択して配設し、頭髪の各部分に応じて前記加熱手段による頭髪への加熱温度を調整するように構成したことを特徴とする頭髪加熱器。

【請求項3】 頭髪を覆うキャップ状部材に、頭髪の加熱が必要とされる部分に対向させて使いすてカイロを配設し、この使いすてカイロの発熱により頭髪の全体または一部分を加熱するように構成したことを特徴とする頭髪加熱器。

【請求項4】 頭髪を覆うキャップ状部材に、複数の区画を設けてこれらの区画に収納部をそれぞれに設け、これらの収納部に使いすてカイロを収納し得るように構成したことを特徴とする頭髪加熱器。

【請求項5】 請求項4記載の頭髪加熱器において、前記収納部をシート状部材で層状に区分し、これらの区分のいずれかを選択して前記使いすてカイロを収納するように構成したことを特徴とする頭髪加熱器。

【請求項6】 頭髪を覆うキャップ状部材に、複数の区画を設けてこれらの区画に電気的加熱手段をそれぞれに配設し、制御手段により前記電気的加熱手段を前記区画毎にON/OFFまたは加熱温度調整のすくなくとも一方の制御を行なうように構成したことを特徴とする頭髪加熱器。

【請求項7】 予め頭髪の全部または一部分にパーマ剤またはトリートメント剤またはヘアカラー剤を塗布または湿し、この頭髪を覆うキャップ状部材に、前記パーマ剤またはトリートメント剤またはヘアカラー剤を塗布した部分に対向させて使いすてカイロを配設し、この使いすてカイロの発熱により頭髪の全部または一部分を加熱してパーマまたはトリートメントまたはヘアカラーすることを特徴とした頭髪加熱方法。

【請求項8】 予め頭髪にパーマ剤またはトリートメント剤またはヘアカラー剤を塗布または湿し、この頭髪をキャップ状部材で覆い、このキャップ状部材が複数の区画されて各区画毎にそれぞれ設けられた加熱手段による加熱温度を区画毎に調整して、頭髪の部分毎にパーマまたはトリートメントまたはヘアカラー効果を調整することを特徴とした頭髪加熱方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、頭髪にパーマまたはトリートメントまたはヘアカラーを手軽に、また部分的にかけるのに好適な頭髪加熱器および頭髪加熱方法に関するものである。

【0002】

【従来の技術】頭髪にパーマ剤またはトリートメント剤またはヘアカラー剤を塗布または湿し、これを加熱することで薬液の頭髪への浸透を促進させ、パーマまたはトリートメントまたはヘアカラーの効果を高める技術が知られている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】従来の頭髪を加熱する頭髪加熱器にあっては、頭髪全体を加熱するものであり、大型であるとともに高価であり、美容院等でのみ実施できるものであって、家庭内で手軽にできるようなものでなかった。また、頭髪が部分的に健康状態を相違させると、全体として均一にパーマやトリートメントやヘアカラーがかからないという不具合が生じていた。かかる不具合は、頭髪が健康なほどパーマ等がかかりにくくダメージが大きいほどパーマ等がかかり易いことに起因している。なお、頭髪を部分的に加熱する機具として、電気的に加熱したロッド状部材に頭髪を巻き付けるものが知られている。かかる機具は、家庭内で手軽に頭髪に巻き癖を与えるのに好適である。しかし、巻き癖を与えない場合には使用することができない。

【0004】本発明は、上述のごとき従来技術の不具合に鑑みてなされたもので、手軽にまた部分的にパーマやトリートメントやヘアカラーをかけることのできる頭髪加熱器および頭髪加熱方法を提供することを目的とする。

【0005】

【課題を解決するための手段】かかる目的を達成するために、本発明の頭髪加熱器は、頭髪を覆うキャップ状部材に、頭髪の一部分に対向させて加熱手段を配設し、この加熱手段により頭髪の一部分のみを加熱するように構成されている。

【0006】また、本発明の頭髪加熱器は、頭髪を覆うキャップ状部材に、複数の区画を設けてこれらの区画に加熱手段をそれぞれまたは選択して配設し、頭髪の各部分に応じて前記加熱手段による頭髪への加熱温度を調整するように構成されても良い。

【0007】また、本発明の頭髪加熱器は、頭髪を覆うキャップ状部材に、頭髪の加熱が必要とされる部分に対向させて使いすてカイロを配設し、この使いすてカイロの発熱により頭髪の全体または一部分を加熱するように構成されても良い。

【0008】また、本発明の頭髪加熱器は、頭髪を覆うキャップ状部材に、複数の区画を設けてこれらの区画に収納部をそれぞれに設け、これらの収納部に使いすてカイロを収納し得るように構成されても良い。

【0009】さらに、前記収納部をシート状部材で層状に区分し、これらの区分のいずれかを選択して前記使いすてカイロを収納するように構成することもできる。

【0010】また、本発明の頭髪加熱器は、頭髪を覆う

キャップ状部材に、複数の区画を設けてこれらの区画に電氣的加熱手段をそれぞれに配設し、制御手段により前記電氣的加熱手段を前記区画毎にON/OFFまたは加熱温度調整のすくなくとも一方の制御を行なうように構成されても良い。

【0011】また、本発明の頭髮加熱方法は、予め頭髮の全部または一部分にパーマ剤またはトリートメント剤またはヘアカラー剤を塗布または湿し、この頭髮を覆うキャップ状部材に、前記パーマ剤またはトリートメント剤またはヘアカラー剤を塗布した部分に対向させて使い

【0012】また、本発明の頭髮加熱方法は、予め頭髮にパーマ剤またはトリートメント剤またはヘアカラー剤を塗布または湿し、この頭髮をキャップ状部材で覆い、このキャップ状部材が複数に区画されて各区画毎にそれぞれ設けられた加熱手段による加熱温度を区画毎に調整して、頭髮の部分毎にパーマまたはトリートメントまたはヘアカラー効果を調整する。

【0013】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施例を図1を参照して説明する。図1は、本発明の頭髮加熱器の一実施例の外観図である。

【0014】図1において、本発明の頭髮加熱器は、頭に被って頭髮全体を覆うキャップ状部材10に、片面に貼着剤が塗布されている使いすてカイロ12、12…を適宜な位置に貼接させたものである。この使いすてカイロ12、12…の貼接は、頭髮全体を加熱するようにまたは部分的に加熱するように、適宜に行なえば良い。このキャップ状部材10は、使いすてカイロ12、12…で発生する熱および遠赤外線透過させて、頭髮を加熱するとともに遠赤外線を頭髮に照射させる素材からなり、また頭髮側の水分が使いすてカイロ12側に染み出さないような防水処理がなされている。そしてキャップ状部材10は、頭髮全体に密着してこれを覆うものであれば良く、布等の可撓性を有するもの、または樹脂等からなり可撓性を有しないもののいずれであっても良い。そして、使いすてカイロ12、12…に外部から水分がふりかかるのを防止するとともに、使いすてカイロ12、12…の発熱が無駄に放熱されるのを防ぐために、防水性および断熱性を有するキャップカバー14を、必要により、使いすてカイロ12、12…を貼接したキャップ状部材10の上に被せても良い。

【0015】かかる構成において、まず、パーマまたはトリートメントまたはヘアカラーを必要とする頭髮部分または頭髮全体に、パーマ剤またはトリートメント剤またはヘアカラー剤を塗布または湿す。そして、パーマ剤またはトリートメント剤またはヘアカラー剤を塗布等した箇所に対応させて、キャップ状部材10に使いすてカ

イロ12、12…を発熱させる状態で貼接する。かかるキャップ状部材10を被ることにより、使いすてカイロ12、12…の発熱および遠赤外線で頭髮が加熱および照射され、パーマ剤またはトリートメント剤またはヘアカラー剤の頭髮への浸透が促進され、高いパーマまたはトリートメントまたはヘアカラー効果が得られる。

【0016】上述のごとく、本発明の頭髮加熱器にあっては、使いすてカイロ12、12…を発熱源としており、家庭内で極めて手軽にパーマまたはトリートメントまたはヘアカラーを行なうことができる。また、パーマ等を髪に巻き癖を与える場合に限られず任意の形状で施すことができる。しかも、使いすてカイロ12、12…を加熱が必要な一部分のみに貼接することで、頭髮を部分的に加熱することができ、部分的にパーマまたはトリートメントまたはヘアカラーを行なうこともできる。

【0017】次に、図2ないし図4を参照して本発明の他の実施例を説明する。図2は、本発明の頭髮加熱器の他の実施例の外観図である。図3は、図2に示す収納部の例を示し、(a)はポケット状のものを示し、(b)は蓋体で覆うものを示す。図4は、図2(a)のポケット状の収納部にシート状部材を設けて層状に区分した例を示し、(a)は収納部の断面図であり、(b)は高い加熱温度を得るように使いすてカイロを収納した例の断面図であり、(c)は低い加熱温度を得るように使いすてカイロを収納した例の断面図である。図2において、図1と同一部材には同一符号を付けて重複する説明を省略する。

【0018】図2ないし図4において、本発明の頭髮加熱器の他の実施例は、キャップ状部材10に前部、後部、頂部、左・右側部等の複数の区画が設けられ、これらの区画にそれぞれ使いすてカイロ12、12…を収納し得る収納部16、16…が配設される。そして、必要により図1のものと同様にキャップカバー14を被せても良い。さらに、収納部16は、例えば図3(a)に示すごとく、ポケット状のものであり、袋部16aと蓋体16bからなり、蓋体16bが袋部16aにマジックテープ18、18で開閉自在に形成される。また、図3(b)に示すごとく、使いすてカイロ12全体を覆い得る蓋体16bが設けられ、その周縁にマジックテープ18が設けられ、このマジックテープ18に対応してキャップ状部材10にマジックテープ18が設けられている。使いすてカイロ12を配設し、この蓋体16bで覆ってマジックテープ18、18で閉じた状態を維持して、使いすてカイロ12を保持する。

【0019】さらに、図4(a)に示すごとく、ポケット状の収納部16をシート状部材20によってポケット内を層状に2つに区分しても良い。このシート状部材20は、布等の可撓性を有するシートであり、適宜な厚さと適宜な熱伝導性を有する。そこで、図4(b)のごとく、キャップ状部材10に近いポケットに使いすてカ

ロ12を収納すれば、キャップ状部材10を介して頭髮に与えられる熱量が多く、高い温度で頭髮を加熱することができる。また、図4(c)のごとく、キャップ状部材10から遠いポケットに使いすてカイロ12を収納するならば、キャップ状部材10とシート状部材20の双方を介して熱が伝達され、頭髮に与えられる熱量は、図4(b)の場合よりも少なくなり、頭髮を加熱する温度は低いものとなる。なお、収納部16は、上述のごとく、一枚のシート状部材20でポケット内を2つに区分されるものに限られず、複数枚のシート状部材20、20…を用いてポケット内を3つ以上に区分けしても良い。

【0020】かかる構成において、図2ないし図4に示す頭髮加熱器にあっては、図1に示すものと同様に、頭髮の加熱を必要とする部分に対応する区画の収納部16、16…に使いすてカイロ12、12…を収納させることで、頭髮の部分的な加熱が可能である。しかも、図4に示すごとく収納部16、16…を構成することによって、加熱する温度を区画毎に選択することができる。そして、例えば頭髮の前部と左・右側部は高い温度で加熱し、後部は低い温度で加熱し、頂部は加熱しない等の任意の設定ができる。そこで、パーマ等を部分的にかける場合に、特に痛んだ髪の毛の部分は低い温度とし、健康な髪の毛の部分は高い温度として均等にパーマ等をかけることができる。

【0021】また、図5を参照して本発明のさらに他の実施例を説明する。図5は、本発明の頭髮加熱器のさらに他の実施例を示し、(a)はキャップカバーを開いた外観図であり、(b)はキャップカバーを閉じた外観図であり、(c)は使用する使いすてカイロの形状の一例を示す図である。

【0022】図5に示す実施例は、キャップ状部材10とキャップカバー14が二重に配設され、頭の頂部付近で互いに連結されて一体化されたものである。そして、キャップカバー14には、経度方向にジッパー14a、14aが設けられて据部が開くように構成される。また、キャップ状部材10の外側の据部とキャップカバー14の内側の据部とに対向してマジックテープ18、18…が設けられ、キャップ状部材10にキャップカバー14が着脱自在とされている。さらに、キャップ状部材10およびキャップカバー14の据には伸縮自在のゴム等が設けられる。

【0023】そして、キャップカバー14を開いた状態で、キャップ状部材10の外側の適宜な部分に使いすてカイロ12、12…を貼接し、再びキャップカバー14を閉じるとともにマジックテープ18、18…で固定する。使いすてカイロ12は、図5(c)に示すごとく、略舟形であり、略半球状のキャップ状部材10に隙間なしに貼接することができる。

【0024】かかる構成にあっては、使いすてカイロ1

2、12…の発熱が無駄に放熱されるのを常に被せられるキャップカバー14で確実に阻止し得る。しかも、このキャップカバー14は、キャップ状部材10に連結されているとともにマジックテープ18、18…でキャップ状部材10に固定され得るので、その取り扱いが容易であるとともにキャップカバー14が紛失する虞もない。

【0025】さらに、図6ないし図8を参照して本発明のさらに別の実施例を説明する。図6は、電気的加熱手段を組み込んだ本発明の頭髮加熱器のさらに別の実施例の外観図であり、(a)は側面図、(b)はA矢視図である。図7は、図6の頭髮加熱器の一例の制御回路ブロック図である。図8は、図6の頭髮加熱器の他の例の制御回路ブロック図である。

【0026】図6ないし図8において、キャップ状部材10に複数の区画が設けられ、これらの区画に面状ヒータ等の電気的加熱手段30a、30b、30c、30d、30eが組み込まれている。これらの電気的加熱手段30a～eには、交流100VがACアダプター32で直流変換されさらに制御手段34で適宜な電圧に調整されて印加される。

【0027】ここで、制御手段34の一例を図7を用いて説明する。直流変換されたDC12VまたはDC24Vが、スイッチ40とタイマー42に与えられ、このタイマー42に設定された時間だけスイッチ40が閉じるように構成される。このスイッチ40を通過した電圧は、可変抵抗器44a～eおよびコンデンサ46の一端に印加される。これらの可変抵抗器44a～eおよびコンデンサ46の他端は接地される。そして、可変抵抗器44a～eの摺動端子に生じる電圧が、電気式加熱手段30a～eにそれぞれ印加される。電気式加熱手段30a～eの他端は接地される。図7にあっては、スイッチ40とタイマー42と可変抵抗器44a～eおよびコンデンサ46とで制御手段34が構成される。

【0028】かかる制御手段34にあっては、可変抵抗器44a～eで任意に設定される分圧比の電圧が電気式加熱手段30a～eにそれぞれ与えられるので、電気式加熱手段30a～e毎にその温度の調整ができる。しかも、タイマー42によって電気式加熱手段30a～eの加熱時間を適宜な長さに設定することができる。

【0029】また、制御手段60の他の例を図8を用いて説明する。AC100Vがスイッチ62を介して変圧器64の一次側に与えられる。この変圧器64の2次側に、点弧角調整回路66a～eと電気的加熱手段30a～eの各直列接続体が並列接続される。これらの点弧角調整回路66a～eは、サイリスタやトランジスタ等を用いて交流電圧が導通する点弧角を任意に設定でき、点弧角の調整によって導通する平均電圧を調整できるものである。

【0030】かかる制御手段60にあっては、点弧角調

整回路66a～eを適宜に設定してスイッチ62を閉じれば、調整された電圧が電気式加熱手段30a～eにそれぞれ印加され、各電気式加熱手段30a～e毎にその温度が調整される。

【0031】図6ないし図8で説明した本発明の頭髮加熱器にあっては、頭髮全体または部分的に任意に加熱ができる。しかも、その加熱温度を任意に調整できる。したがって、図1ないし図5に示す使いすてカイロ12、12…を用いる上述の頭髮加熱器と同様に、頭髮の必要な部分または頭髮の健康状態等に応じてその温度を調整して頭髮を加熱することができる。しかも、電気式であるためにその使用に煩雑なところがない。なお、制御手段34、60は、電気式加熱手段30a～e毎に適宜な温度を設定できれば良く、図7または図8に示す回路構造に限られるものでない。

【0032】

【発明の効果】以上説明したように、本発明の頭髮加熱器は構成され、また本発明の頭髮加熱方法が実施されるので、以下のごとく格別な効果を奏する。

【0033】請求項1記載の頭髮加熱器にあっては、頭髮の一部を加熱することができるので、部分的なパーマやトリートメントまたはヘアカラーを行なうのに好適である。そして、髪に巻き癖を与える場合に限られず、髪に任意の形状でパーマやトリートメントまたはヘアカラーを施すことができる。

【0034】また、請求項2記載の頭髮加熱器にあっては、各区画で頭髮を加熱する温度の調整ができるので、頭髮の健康状態に応じて温度を変えることで、頭髮全体で均一にパーマまたはトリートメントまたはヘアカラーをかけることができる。

【0035】また、請求項3および4記載の頭髮加熱器にあっては、加熱手段として使いすてカイロを用いるので、家庭内で手軽に頭髮を加熱することができ、従来美容院でのみ行なわれていたのと同様のパーマまたはトリートメントまたはヘアカラーを家庭内で手軽に行なうことができる。

【0036】さらに、請求項5記載の頭髮加熱器は、使いすてカイロを加熱手段として用いるものでありながら、頭髮への加熱温度を調整することができ、頭髮の健康状態等に応じてパーマ等の効果を調整することができる。

【0037】また、請求項6記載の頭髮加熱器は、電気式加熱手段を用いるので、各区画毎に頭髮を加熱または加熱しないように任意に制御でき、さらに加熱するにしてもその温度を任意に調整することができる。そこで、頭髮の各部分によりそれぞれ異なる効果でパーマまたはトリートメントまたはヘアカラーをかけることが可

能である。

【0038】また、請求項7記載の頭髮加熱方法では、使いすてカイロを用いて、手軽に全体または部分的にパーマまたはトリートメントまたはヘアカラーを行なうことができる。

【0039】また、請求項8記載の頭髮加熱方法では、頭髮の各部分毎に加熱温度を調整することで、部分毎にパーマ等の効果を相違させることができ、髪の健康状態に応じてまたは一部分だけ強くパーマまたはトリートメントまたはヘアカラーをかける等のことができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の頭髮加熱器の一実施例の外観図である。

【図2】本発明の頭髮加熱器の他の実施例の外観図である。

【図3】図2に示す収納部の例を示し、(a)はポケット状のものを示し、(b)は蓋体で覆うものを示す。

【図4】図2(a)のポケット状の収納部にシート状部材を設けて層状に区分した例を示し、(a)は収納部の断面図であり、(b)は高い加熱温度を得るように使いすてカイロを収納した例の断面図であり、(c)は低い加熱温度を得るように使いすてカイロを収納した例の断面図である。

【図5】本発明の頭髮加熱器のさらに他の実施例を示し、(a)はキャップカバーを開いた外観図であり、(b)はキャップカバーを閉じた外観図であり、(c)は使用する使いすてカイロの形状の一例を示す図である。

【図6】電気的加熱手段を組み込んだ本発明の頭髮加熱器のさらに別の実施例の外観図であり、(a)は側面図、(b)はA矢視図である。

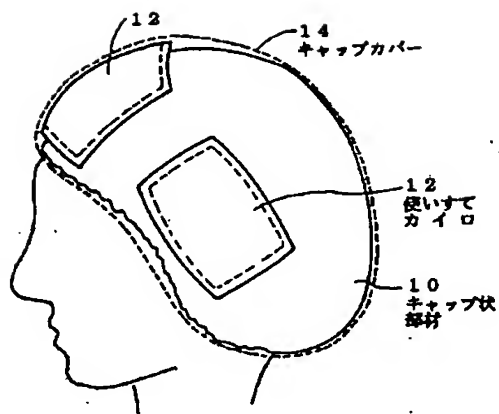
【図7】図6の頭髮加熱器の一例の制御回路ブロック図である。

【図8】図6の頭髮加熱器の他の例の制御回路ブロック図である。

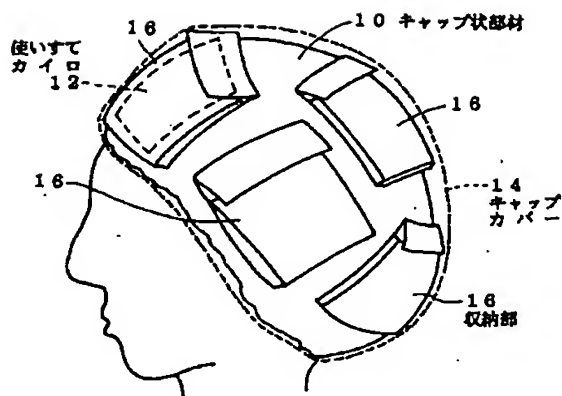
【符号の説明】

- 10 キャップ状部材
- 12 使いすてカイロ
- 14 キャップカバー
- 16 収納部
- 16a 袋部
- 16b 蓋体
- 18 マジックテープ
- 20 シート状部材
- 30a～e 電気式加熱手段
- 34、60 制御手段

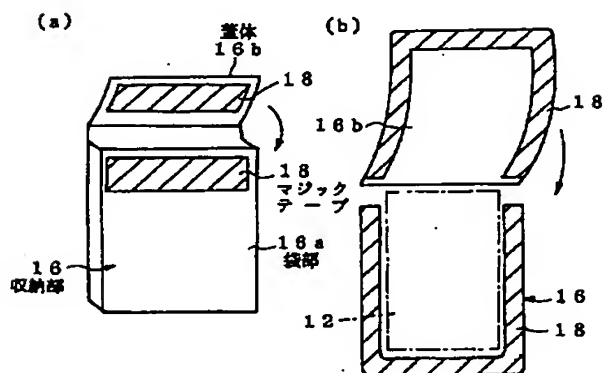
【図1】



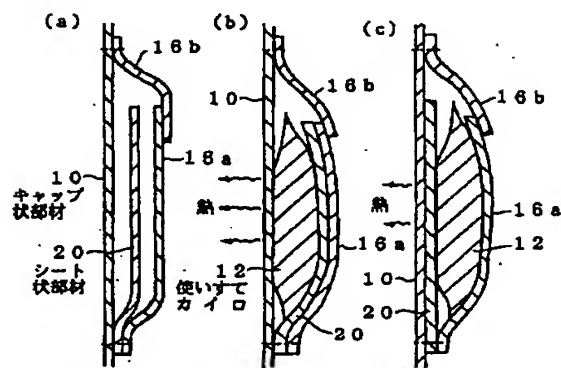
【図2】



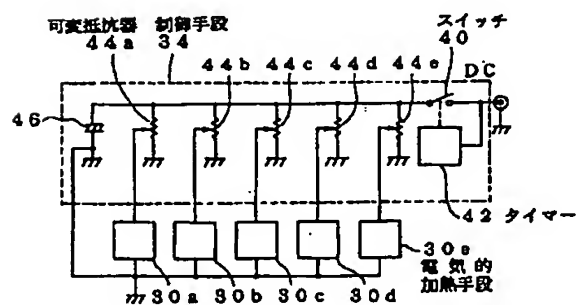
【図3】



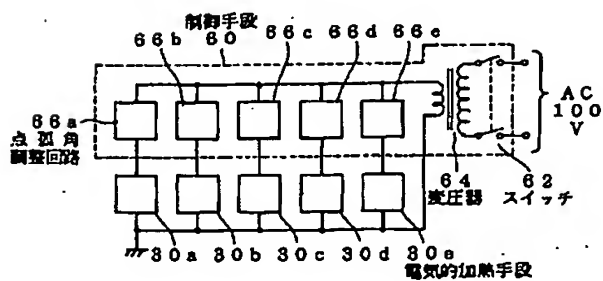
【図4】



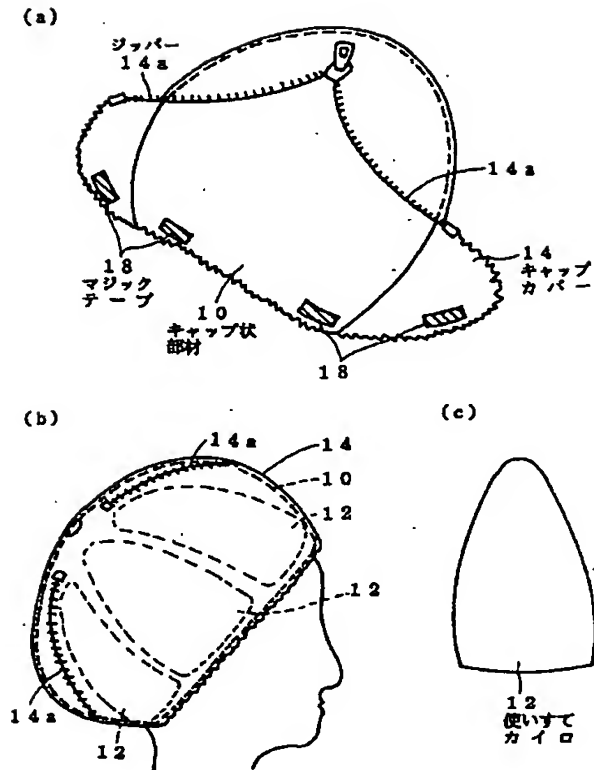
【図7】



【図8】



【図5】



【図6】

